

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		特別支援学級助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	020102000151
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	090801
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実						課長名	教育指導課
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	教育指導課
施策名		01 学校教育の充実						担当者名	
手段名		02 ②教育体制の充実							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計 単年度繰返し (平成17年度~)			
	01	10	01	03	01 00	教育指導事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 桜川市特別支援学級事業補助金交付要項									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市の特別支援学級在籍する児童・生徒に対して日常と異なる場で、いろいろな活動を体験させ、基本的な知識や技術を取得させることを目的として補助金を交付している。	補助金申請書の受理、補助金交付決定、補助金の支払い、実績報告書の受理及び審査事務。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・合同遠足 ・心と心のふれあいフェスティバル ・手をつなぐらの作品展 ・交流会の開催 (事業主体) ・補助金申請書の受理、補助金交付決定、補助金の支払い、実績報告書の受理及び審査事務 (教育委員会) 	合同遠足 (手をつなぐらの作品展見学を含む)	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		人	139.00	149.00	147.00	147.00	147.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
桜川市内特別支援学級在籍児童生徒	特別支援学級在籍児童生徒	人	139.00	149.00	147.00	147.00	147.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
日常生活と異なる場で、一人一人の能力や特性に応じた様々な体験をさせる	合同遠足の実施	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	153	153	153	
	事業費計 (A)	千円	153	153	153		
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
18 負担金補助及び交付金	153		18 負担金補助及び交付金	153	
合計		153	合計		153

事務事業名	特別支援学級助成事業	事務事業No.	20102000151	所属課	教育指導課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 真壁町と大和村の教育研究会合同事業として、10年以上前から行っている。合併後は、3台の庁用バスを使い、継続して行っている。市内の特別支援学級の児童生徒が一堂に会し、それぞれの役割分担を果たしたり、多くの友達と交流したりすることにより、協力する心や責任のある態度を養ったりすることができる貴重な機会となっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特別支援学級に在籍する異学年の児童生徒が交流する場を定期的に設けることが望ましい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 個別の支援を必要とする児童生徒が、役割分担を果たしたり、多くの友達と交流したりする活動は、生き甲斐を育む教育の一環として貴重な機会となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内全ての小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒を対象として行っており、公共性がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 内容を吟味して実施することで、児童生徒のキャリア教育と結びつけることができ、より成果を上げることができる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市内全ての小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が交流する機会であるばかりでなく、県内の特別支援学級に在籍する児童生徒の作品鑑賞をする貴重な機会にもなっている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 独自性がある事業であり、他の事業との統合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない できる限り庁舎のバスを使用するなど、事業費の削減に努めている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全ての小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒を対象としており、不公平ではない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	特別支援学級に在籍する児童生徒が交流しながらものづくりを体験することができた。日常的に他校の異学年児童生徒が交流するには交通手段の確保等が難しいため、年に1度の合同交流会は貴重な機会となっている。																											
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下	維持		×	×	低下		×	×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○	×																									
低下	維持		×	×																									
	低下		×	×																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>